

平成22年度 病虫害発生予察情報

発生予報第9号(10月)

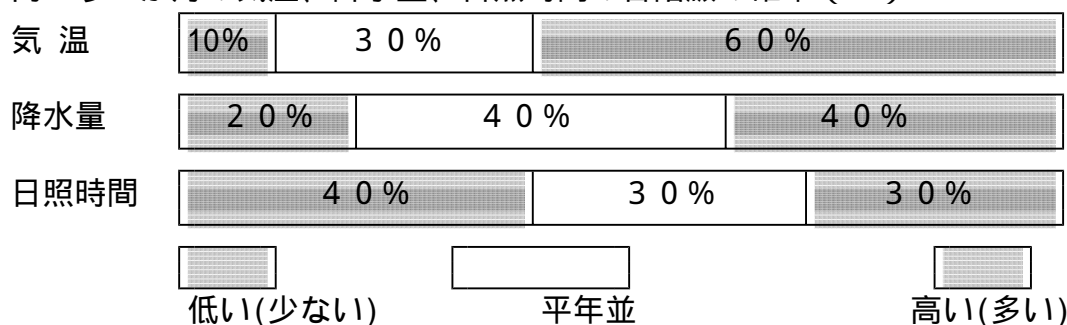
平成22年10月 7日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない
		菌核病	やや少ない
	アブラナ科野菜	コナガ	やや少ない
		ハスモンヨトウ	やや多い

中国地方1か月予報(10月2日～11月1日・広島地方気象台10月1日発表)

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

9月5半旬から10月1半旬までの予察灯(出雲市)でのカメムシ類の誘殺数は32頭(平年34.9頭)と平年並みである。

9月下旬の巡回調査での累積被害果率は17.5%(平年6.5%)と多いが、新たな被害はみられない。

10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

10月第1半旬現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず(平年発生圃場率13.4%)、全般の発生量は平年に比べて少ない。

ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生が多く、感染に助長的である。

向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

10月第1半旬現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず(平年発生圃場率0.7%)、全般の発生量は平年に比べてやや少ない。
向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

10月上旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の寄生株率は0%(平年6.0%)で発生量は少ない。
10月の気象は、本種の発生に助長的である。

(2) ハスモンヨトウ (注意報発令中)

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや多い

予報の根拠

フェロモントラップによる7月から現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の73.7%(今年:1253頭、平年1701.24頭)、益田市で平年の89.1%(今年1868頭、平年2096.1頭)と平年並み~やや少ない。
10月上旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は44.4%(平年50.3%)、寄生株率は6.7%(平年8.8%)で発生量はほぼ平年並みである
10月の気象は、本種の発生に助長的である。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL: 0853-22-6772

FAX: 0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougai tyuu/>